

旧鎌倉街道東コース(入間川・一部堀兼ルート)巡り

2019. 9. 21記 稲村 貢

実施日 2019年9月19日(木) 9:00~13:30

参加者 17名

集合場所 東村山駅 解散場所 パークホテル前

主な見学地とコース

鎌倉古道入り口の東原家→白山神社→徳蔵寺→將軍塚→久米川古戦場跡→悲田処跡→
勢揃橋→長久寺

今回の東コース巡りは東村山駅から八国山を回って、旧所沢の中心街を抜けていく入間川ルートを通り、最後に枝道で堀兼ルートに入って新所沢駅に至る約8kmの道のりをたどる計画をしました。昼食はパークホテル。

当日、事前に東村山市内～所沢市内の「鎌倉街道上つ道を歩く」の地図(資料1)と「所沢の鎌倉街道探訪のしおり(東コースの巻)」(資料2)を配布し、その資料の内容に基づいて旧鎌倉街道を探訪しました。

最初にこれから旧鎌倉街道(鎌倉道・鎌倉往還)の東コースを探訪する際に、次の3点に留意して歩き学習していただければありがたいと話しました。

(1) 鎌倉道は御家人が「いざ鎌倉」のために直線的に整備された、逆に新田義貞の倒幕

と次・三男が新田氏再興を執拗に図った道にもなった。

- (2) 鎌倉時代当時の農民・商人などの庶民は草鞋をはいてどのような気持ちでこの鎌倉道を歩いていたか想像してみる。
- (3) 鎌倉道を行き来していた当時の人たちは寺院や神社とどのようなかかわりを持って生きていたかを想像してみる。

以下、主な見学地を探訪して学んだこと、感想を簡略に紹介します。

1 東原（とうはら）家

車が頻繁に行き交う府中街道から一転して細い鎌倉古道に入るところに当家と市教委の鎌道の標示板あり。家の構えがしっかりしていかにも旧家の雰囲気。近くに東原家の立派な墓所があるが墓地敷地には入らず。

2 東村山教委の「鎌倉古街道」についての説明板

鎌倉街道という名称は江戸時代の五街道になぞらえたものであり、当時の人は「鎌倉道」または「鎌倉往還」と呼んでいたはずということを確認。「旧鎌倉街道」「鎌倉古道」は現代人が相対化してつけた名称である。

3 白山神社

まず日本三霊山の一つである白山神社の支社にもかかわらず、あまりのみすぼらしさにびっくり。境内の大きな湧水池が周辺開拓中心というかつての面影なし。同所の牛

頭天王像の祠が江戸時代の庶民の願いを反映。

4 徳蔵寺

板碑保存館を見学。2003年に屋根を乗せて装いを新たにした保存館が立派なのにびっくり。「太平記」に出てくる元弘の碑の原板は迫力あり。新田義貞が旗揚げからわずか半月で鎌倉幕府を滅亡させたすごさを実感。

5 将軍塚

新田義貞が鎌倉攻めの際に築いた塚に白旗を立てた場所と見学したばかりの元弘の碑が実際あった場所を板碑「元弘青石塔婆所在地」で確認。八国山の説明板で八国に上総・下総がなぜ入っていないのかの課題を呈す。

6 久米川古戦場跡

新田義貞が幕府軍と小手指原で30回一進一退の戦いをして、第2弾として戦った戦場跡。さらに決着を天下分け目の分倍河原戦に持ち越す。

説明板で八国山の名称の所以は八国の山が見えた所だからを確認

7 悲田処跡

この悲田処は東山道沿いで、国司の6人の有志役人の請願で周辺の困窮者、孤児、病弱者を救済するために作られた施設。悲田の意味及び人間の本当の幸せを仏教の3福田（悲田・恩田・敬田）の教えから学ぶ。

8 勢揃橋

柳瀬川にかかる普通の小橋だが、新田義貞が鎌倉攻めの際に、この橋周辺に数万の

武士、雑兵が勢ぞろいした謂れがあることから昭和 8 年に名づけられたというが、誓詞橋と同じく当時の状況が想像しがたかった。

9 長久寺

所沢で唯一の一遍（河野水軍の末裔）が開いた浄土宗の寺院。玖阿弥陀仏

開山で元弘の碑を八国山に建立。旗本の中根正重の墓所、医者平塚宗順の廻国供養

塔、

上人の立像、豊川稻荷神社の分社などを見学。

長久寺から南小を通過して、パークホテルに行き中華料理のランチをとり休息。午後は実蔵院、薬王寺、新光寺、堀兼道枝道を巡ることになっていましたが、どういうわけか打ち切りとなりました。計画通り最後まで実施して一区切りをつけたかった担当者としてはたいへん残念でした。しかし、今回の鎌倉古道巡りで私の拙い説明でも新たな発見や再確認がいくつかできて良かったという声をいただきました。参加者の皆様には深く感謝いたします。ありがとうございました。

また午前中暑い中お疲れさまでした。



出発前の説明



東原家と古道標示板



鎌倉古街道説明板



白山神社



牛頭天王像



牛頭天王像設立由来の説明板



徳蔵寺本堂



徳蔵寺板碑保存館



新田義貞非業の標示板



元弘の碑（国指定重要文化財）



元弘青石塔婆所在地址



将軍塚説明板



将軍塚



久米川古戦場跡石柱と説明板



悲田処跡標示柱



長久寺山門



長久寺本堂前での集合写真

※ 写真は小倉洋一様と小川雅愛様から提供頂きました。ありがとうございました。